

婚姻届の記入例

届出日	婚姻届を出す日		
	夫		妻
(1)氏名 生年月日	戸籍のとおり記入。外国人はカタカナ 生年月日は和暦で記入。外国人は西暦		
(2)住所	住所、アパート、団地名などは住民票のとおり記入。妻の住所が夫と同じ場合は「左と同じ」と記入してもよい		
	世帯主の氏名	住民票のとおり記入。妻の世帯主が夫と同じ場合は「左と同じ」と記入してもよい	
(3)本籍	戸籍のとおり記入、外国人は国名を記載して下さい。		
	筆頭者の氏名	戸籍の先頭に記載されている人の氏名。外国人は空欄	
父母の氏名	父	戸籍のとおり記入。外国人はカタカナ	続柄
父母との続き柄	母	戸籍のとおり記入。外国人はカタカナ 父母が婚姻継続中、または婚姻継続中に死亡しているときは、母の氏を記入しない	長男、二女など
(4)婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	希望するものに「レ」しるし	新本籍は地番があれば日本国内のどこにでも定めることができる	
(5)同居を始めたとき	結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを和暦で記入。どちらもしていない場合は「未」と記入		
(6)初婚・再婚の別	該当するものに「レ」しるし。年月日は和暦で記入		
(7)同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と(8)夫妻の職業	同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯で、生計を主に維持していた者の仕事に該当するものにそれぞれ「レ」しるし 夫妻の職業は、国勢調査の年に婚姻するときだけに記入		
届出人の署名押印	各自、本人が署名、押印する。		
連絡先	日中につながる電話番号。携帯電話の番号も可		

記入の際に注意すること

- ・届書右半分の証人欄は成年の証人2名が記入して下さい。証人は親兄弟、友人、外国人を問いません。
- ・記入には消えにくいボールペンなどを使用し、水性インクのは避けてください。
- ・文字は楷書でていねいに書いてください。
- ・□には、該当するものに「レ」しるしをつけてください。
- ・年月日は、すべて和暦で記入してください。ただし、外国人の生年月日は西暦で記入してください。
- ・書き間違えたときは、訂正箇所には赤色で一本線を引き、正しく記入しなおしてください。
- ・署名は必ず本人が自署してください。
- ・印は認印で構いませんが、朱肉を使う印鑑を使用してください。
- ・日中につながる電話番号を必ず記入してください。訂正の必要があるときに連絡する場合があります。